

Ofri Nehemya Trio

[Profile]

Ofri Nehemya オフリ・ネヘミア : drums



ドラマーの父親と歌手の母親の元で育ち幼い頃から音楽が溢れていた環境に育ちロック、ポップ、フュージョン、ジャズ等の音楽に触れる。

8才から4年間は父親の指導を受ける。

その後、クラシックとジャズのピアノ・レッスンを受けハーモニーと作曲の基礎を学ぶ。

国立テルマ・イエリン高校に在学中にバークリー音楽大学のサマー・ジャズプログラム全額奨学金を獲得

し短期コースを受講中に4年間のフルライド奨学金を獲得するなどその才能は早くから注目を集める。

15歳頃からアヴィシャイ・コーエン (b)、エリ・デジブリ (sax)、オメル・アヴィタル (b)、アーロン・ゴールドバーグ (p)、ルーベン・ロジャース (b) など 錚々たるアーティストたちと共演し特にベーシストのアヴィシャイ・コーエンは頻りにメンバーとして指名している。

2015年に開催された「東京 JAZZ」には”エリ・デジブリ・カルテット”のメンバーとして出演し堂々

たるプレイを披露しているほか、世界各地へのツアーにも参加している。レコーディングでもアヴィシャイ・コーエンの『アルマ』、エリ・デジブリの『トゥエルヴ』、『クリフ・ハンギン』に参加し、特にアヴィシャイ・コーエンがプロデュースした『All Original』では“オフリ・ネヘミア・カルテット”としてラインナップされ、アヴィシャイの彼に対する高評価がうかがわれる。2018年に同世代の Gadi Lehavi(p)、Tal Mashiach(b)と”GTO Trio”を結成し初のツアーとして来日し話題となる。2023年に自己の”Ofri Nehemya Trio”の初海外ツアーとして来日を果たし多くの聴衆にその演奏の素晴らしさ知らしめる。

現在、ニューヨークを中心に自己のリーダーグループの他”GTO Trio”、ベン・ウエンデル、シャイ・マエストロ、アナット・コーエン等多くのミュージシャンと共演し活躍している。

Tomer Bar トメル・バー : piano



女優とギタリストの両親のもとに生まれ、音楽のある環境で育ち10才の頃からジャズに興味を持ち始め演奏と作曲を始める。

2006年に本格的な演奏活動を開始し、そのわずか2ヶ月後にレコーディングした「Memories」でCDをデビューをはたす。

2008年、早くも2作目のアルバム「Reflections」を録音する。

2011年、トメルの全編オリジナル曲でジャズアルバムをレコーディングし、2018年5枚目のアルバム「To Know Everything (Album)」をリリースしている。

2019年、「東京 JAZZ」に”イエメンブルース”のメンバーとして来日する。

名門国立テルマ・イエリン高校とアカデミー オブ ミュージック アンド ダンスを卒業している

Tomer Bar は10代の頃から天才ジャズピアニストとして名を馳せ、数枚のアコースティック・ジャズアルバムを発表し弟の Nitzan Bar と共に神童と言われている。

現在、世界各地で活躍している。

Nitzan Bar ニツァン・バー : guitar



1998年生まれ。ギタリスト、プロデューサー、作曲家。

3歳からドラムスを始め、9歳頃から本格的にギターを始める。プロのギタリストである父の指導のもと早くからその才能を開花させ12歳の時に父の伴奏をバックに圧倒的なテクニックでジャズ・スタンダード「Donna Lee」を演奏する動画などがSNSで話題となった。

17歳の時には若手ジャズバンドに参加して”Red Sea Jazz Festival”に出演する。

20歳の時にオリジナル楽曲を収録したファーストアルバムをリリース。

今日までに自身がプロデュースした3枚のオリジナルスタジオアルバムをリリースしている。

アルバムはさまざまな現代ジャズの影響を受けた過去3年間のオリジナル楽曲によって構成されており、アヴィシャイ・コーエン (Tp)、ダニエル・ザミール、エリ・デジブリ、オムリ・モールなど、著名なミュージシャンをはじめとする世界レベルのミュージシャンたちが参加して録音さ

れている。2023年「Ofri Nehemya Trio」のメンバーとして初来日し、その演奏は各地で話題となる。

現代的な感覚に溢れた注目のギタリスト。